

PET/MRI で切り拓く疾患動態研究

～神経変性・炎症・生活習慣病の理解に向けた連携研究の可能性～

徳島大学は小動物用 PET/CT/MRI の全てを利用できる環境に恵まれており、様々な病態の in vivo イメージングが可能です。すでに多くの研究に貢献してきたこれらのアプローチを、より多くの疾患動態研究に活用すべく、本シンポジウムでは PET/MRI による最新の研究成果と新たな潮流について講演いただきます。神経変性、炎症、生活習慣病をはじめとする、近年注目を集める様々な分野でのケーススタディに触れることができる絶好の機会です。ふるっての参加をお待ちしております。

日時：2016年7月25日（月） 14:30 - 18:05

会場：藤井節郎記念医科学センター 1F ホール

参加費：無料

プログラム(敬称略)

- | | |
|---------------|--|
| 14:30 - 14:35 | 開会の挨拶 苛原稔 医歯薬学研究部長 |
| 14:35 - 14:50 | 光イメージングによる生理機能の可視化
堀川一樹 / 徳島大学 光イメージング分野 |
| 14:50 - 15:50 | 生体分子イメージングを活用した医療・創薬
渡辺恭良 / 理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター |
| 15:50 - 16:00 | 休憩 |
| 16:00 - 17:00 | 生体分子イメージング推進のための化学
土居久志 / 理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター |
| 17:00 - 17:30 | MRI 技術を駆使した創薬研究
石川 誠 / 大塚製薬 徳島研究所 |
| 17:30 - 18:00 | 神経変性疾患を可視化する PET・MRI
丸山将浩 / 徳島大学 In vivo イメージング分野 |
| 18:00 - 18:05 | 閉会の挨拶 野地澄晴 徳島大学長 |
| 18:10 - 19:00 | 研究交流会：1F ホール前 研究交流スペース |

個々の研究について、「どんな probe の選択肢があるか?」「どんな画像化手法が有効か?」を演者の先生方に相談できる場として、シンポジウム終了後に研究交流会を行います。コーヒ一片手に、新たな連携を具体化させるチャンスですので、あわせての参加お待ちしております。

主催 徳島大学
担当 総合研究支援センター バイオイメージング研究部門
連絡先 tbis@tokushima-u.ac.jp (堀川; 5564)

本シンポジウムは医科学教育部・口腔科学教育部・薬科学教育部・栄養生命科学教育部・保健科学教育部の大学院講義を兼ねています。